

令和3年度事業報告

(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

法人会を取り巻く環境は依然と厳しい状況の中で、全国の法人会員とともに「よき経営者を目指すものの団体」として、納税意識の高揚、会員の研鑽、地域社会への貢献を柱に、さらに公益法人への移行を契機に、新たな「理念」に基づく税制・税務を中心に社会全体へ貢献していくことの明確化と、志の高い経営者であるとの矜持を持って、諸活動を展開しました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置を講じたうえで、税に関する説明会・研修会のほか、年金・労務など幅広い分野での説明会・研修会・セミナーを開催するとともに、租税教室や税に関する絵はがきコンクールの実施など租税教育事業も積極的に推進しました。

また、地域との共生を目指した社会貢献活動として社会福祉施設等への寄付や手作り雑巾の寄贈を行いました。

以下に掲げる項目における事業の取組み状況について、ご報告いたします。

□ 公益関係

1 税知識の普及と納税意識の高揚並びに税の提言に関する事業

(1) 税務に関する説明会・研修会・講演会事業

会員はじめ広く一般の企業及び市民を対象に、税法・税務を中心とした説明会・研修会・税を考える週間特別講演会・セミナーを実施し、税知識の普及による納税意識の高揚に努めました。

① 説明会

改正税法説明会、年末調整説明会

② 研修会

決算期別研修会 3回

法人税実務講座（初級5回・中級4回）

高岡・射水・氷見支部税務研修会 計3回、女性部会税務研修会

③ セミナー、講演会

年末調整セミナー、税を考える週間特別講演会、税経セミナー

実施にあたり、できるだけ関心のあるテーマやホームページ・会報等を活用し早目の案内に心がけました。

全法連では、平成26年度から企業の成長のために内部統制面の強化や経理面の質の向上が重要であることから、法人会の新たなメリットである「法人会自主点検チェックシート」の普及に取り組んでおり、当会では、令和3年度も、決算期別研修会において「法人会自主点検チェックシート」の説明をするとともに、会報「ほうじんHIT」に「法人会自主点検チェックシートを活用していますか？」を掲載し、その普及に努めました。

(2) 税の広報事業

広報活動の充実は、公益性向上に最も重要であることから、ホームページにも県下の単位会とともに内容の充実配意し、きめ細かな情報提供に努めました。

また、会報「ほうじんH I T」と全法連機関紙「ほうじん」を市役所や商工会議所、商工会の窓口、税理士先生方や関係団体等に配布し、一部の金融機関にも会報を配布し、多くの閲覧を考慮しながら広報に努めました。

(3) 税の啓発及び租税教育事業

次代を担う児童や生徒が、税金の仕組みや役割などを理解するための租税教育事業を積極的に推進しました。

高岡・氷見・射水3市の小学6年生を対象に、青年部会が6校、女性部会が2校の計8校で租税教室を実施し、各部会の役員が同じ地域に生きる先輩として講師を務め、クイズなどを織り交ぜ、子供達に税の大切さを伝えました。

また、女性部会が実施した、令和3年度「税に関する絵はがきコンクール」では、高岡税務署管内の小学生から739点の応募があり、射水市立堀岡小学校の児童に「高岡税務署長賞」が贈られました。

なお、平成23年から毎年実施していた「租税教育バス」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

(4) 税制改正の提言

「令和4年度の税制改正に関する要望」について、令和3年度も全国の法人会の役員を中心に「税制に関するアンケート」を行い、そのアンケート結果を参考に全法連は令和3年9月21日開催の理事会において「令和4年度税制改正提言」を決議しました。

当会では、11月の「税を考える週間」の期間中に、会長はじめ役員が地元の国会議員と3市長を訪問し、提言書を直接手渡し、要望活動を行いました。

2 地域企業の健全な発展、社会貢献事業

税以外の政治や経済・経営、年金・労務など幅広い分野での研修会・セミナー・講演会を開催するとともに、地域との共生を目指した社会貢献活動を行い、地域企業ならびに地域社会の健全な発展に資する事業を展開しました。

税以外の研修等では、雇用管理研修会2回、総会記念講演会、公益共催セミナーを開催するとともに、書籍支援やネット研修も実施しましたが、新春特別講演会は中止しました。

また、租税教室開催校に対し、図書カードの寄贈を行いました。

女性部会では、社会貢献活動として、高岡市の社会福祉法人くるみ「くるみの森」へ、子供用車椅子（バギー）の購入費用として寄付を行いました。

さらに、「高岡市 みつば保育園」「氷見市 ケアハウス万葉」「射水市 八幡保育園」に、手作り雑巾や未使用タオルを寄贈しました。

□ 共益関係

3 会員増強・会員支援事業

(1) 組織の充実・強化

会員の純増を目標に、親会・青年部会・女性部会役員が一丸となり、税理士先生、取扱保険3社のご協力を得て、会員増強に努めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症のため、対面での加入勧奨が難しく、令和3年度は、新規加入は23社（前年14社）にとどまる一方、休業・廃業などの理由に

より89社（前年82社）の退会があり、令和4年3月末は△66社の2,249社となりました。

■ 会員の状況は、以下のとおりです。

区 分	公益社団法人高岡法人会第10期（令和4年3月末）		
	所管法人	会 員 数	加 入 率
期首現在	5,904社	2,315社	39.2%
当期加入会員数		23社	
当期退会会員数		89社	
期末現在	5,930社	2,249社	37.9%

(2) 会員支援事業

令和3年度に計画していた会員交流事業については、新型コロナウイルス感染症のため、ほとんどの事業を中止しました。

(3) 青年部会・女性部会

① 青年部会

青年部会活動の大きな柱である「租税教育活動」および「健康経営」について、積極的に取り組みました。

また、令和3年11月開催の第35回「全国青年の集い」佐賀大会において、金沢局連代表として当会青年部会が「租税教育活動プレゼンテーション」を行い、奨励賞を受賞しました。

② 女性部会

「女性部会のあり方（指針）」に沿って、部会員の資質向上と法人会活動の充実・活性化に努めるとともに、税の啓発活動や社会貢献活動を積極的に進めました。

4 会員のための福利厚生事業

法人会の福利厚生制度を取り巻く環境は厳しいことから、協力3社と協調に努め福利厚生制度の更なる推進を図るとともに、福利厚生制度50周年を節目として、全法連主導の「想いをつないで50年『会員企業を守りたい』キャンペーン」について、協力3社と連携し取り組みました。

□ 管理関係

1 諸会議

委員会活動を中心に、活発に事業を展開してまいりました。

2 経理処理

公益法人会計に添ったICTによる経理処理を進めました。